

電機労働者懇談会

事務局Eメール; taninet@jcom.home.ne.jp
ホームページ; http://www.denki-joho.jp/

2025年2月発行 号外

本部: 03-6421-5323

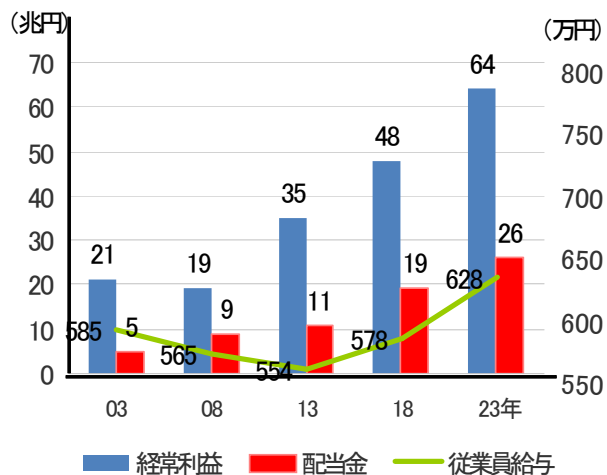
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8-2F

関西: 06-6354-7237

電機懇「25春闘への提言」(骨子)

すべての労働者の大幅賃上げ実現を

大企業の経常利益3倍、配当金5倍
従業員給与は横ばい(1.07倍)



生活改善を含め
10%の賃上げを

24国民春闘では、数十年ぶりの大幅賃上げの成果を勝ち取ったものの、労働者の賃金は物価上昇に追いつかず、国民生活も苦しくなっています。一時金を除いた所定内賃金では、30ヶ月連続の

目減り賃金となつています。賃上げが、大企業を中心に見せかけの状況になっていくことも、明らかになっています。ほとんどが若年層の引上げに留まり、逆に中高年層で賃下げ(マイナス0.6%~2.1%)になっているのです。(厚労省調査) 25春闘では、大幅賃

上げがすべての労働者が実感できるものにしなればなりません。誰でもが生活改善となる「月3万2000円(ベア8%、定昇2%程度)、時給200円以上」の賃上げが必要で、大企業は利益を大幅に上げながらも、賃金に回そうとはしてきません。この20年間で、経常利益は3倍に、配当金は5倍になったのにもかかわらず、賃金は1.07倍(名目)と横ばいのままです。企業の内部留保は593兆円と過去最高になっています。

大幅賃上げ底上げで 日本経済再生を

日本は世界のなかで経済成長できない国となっています。一人当たりのGDPの額が、世界第3・4位と大幅に下落しています。これは、GDPの5割を占める個人消費が伸びなかったこと、その原因のひとつは、雇用労働者の4割を占める低賃金の非正規労働者の増大にあります。「今すぐ全国一律時給1500円に、めざせ1700円」の最低賃金の実現は待たなす。 24春闘で、電機ではベア1万3000円の満額回答となりましたが、賃上げ原資のほとんどが初任給や若年層の賃上げ、成績査定分に回されています。物価上昇はすべての年代が受けているので、ベア相当分は賃金底上げでなければなりません。定年退職者と新入社員の入替で発生する定昇相当分(2%)も公正配分される必要があります。

誰もが10% 3万2000円以上の賃金引き上げを！ 賃金上げろの声を大きくあげ、力を合わせて勝ちとろう

昨年の春闘は、近年にないベースアップの引き上げを獲得しました。しかし、30年来にわたりマイナスイテいる実質賃金を引き上げるまでに至りませんでした。 2025年春闘は、昨年につくりだした大幅賃上げの流れをいっそう強め、誰もが生活向上できる大幅賃上げを勝ち取りましょう。 539兆円の内部留保還元させ大幅賃上げを 資本金10億円以上の大企業は、内部留保を539兆円も溜め込みました(2023年度)。 この巨額の内部留保のく一部・数%を賃金に還元すれば、誰もが3万2000円以上の賃上げは可能です。 電機・情報ユニオンは、「誰でも、10%以上、月額3万2000円以上、時給200円以上の賃上げ」を基本要素として呼びかけます。 低賃金は人権侵害です 電機で働くすべての労働者

各国の最低賃金比較

イギリス	2214円
ドイツ	2088円
フランス	1897円
韓国	1108円
日本(加重平均)	1055円

(2024年)
資料: 全労連資料を編集

電機・情報ユニオンは、人権侵害を無くし、人権を尊重する経営を企業に求めていきます。 誰誰もが生活向上できる春闘に 昨年の春闘は、電機大手のベースアップは1万3000円と報道されました。

しかし、賃上げの実態は、「賃上げは4万円を超えた」「わずか数千円の賃上げ」「賃金が上がりず下がった」などの声に示されるように、労働者間の賃上げ格差が拡大される弊害が発生しました。 25年春闘では、成果主義賃金を是正し、誰もが生活向上できる春闘にしていきましょう。 かけがえのない雇用と地域経済を守る春闘に 電機大手は、この13年間で90万人を超える正社員のリストラを強行し、黒字リストラと常時リストラをベースにして、テレワークを悪用した「個別リストラ」を強めています。 このリストラに対して、電機・情報ユニオンは、職場の労働者や地域の労働組合などと共同して対抗し、雇用と地域経済を守るために力を尽くしてきました。 「企業は人員削減はやめよ。雇用義務を果たせ」の声を高め、雇用と地域経済を守る春闘にしていきましょう。

たたかう労働組合で
生活改善の賃上げを

国民春闘共闘、全労連は、「たたかう労働組合のベースアップ、すべての労働者の大幅賃上げ・底上げ、労働時間短縮の実現、軍拡増税でなく公共の再生、社会保障の充実を」のスローガンを掲げ、たたかう仲間を増やし、ストライキを力にした春闘の強化を呼びかけています。

一人でも入れる 困ったら
電機・情報ユニオンに相談を

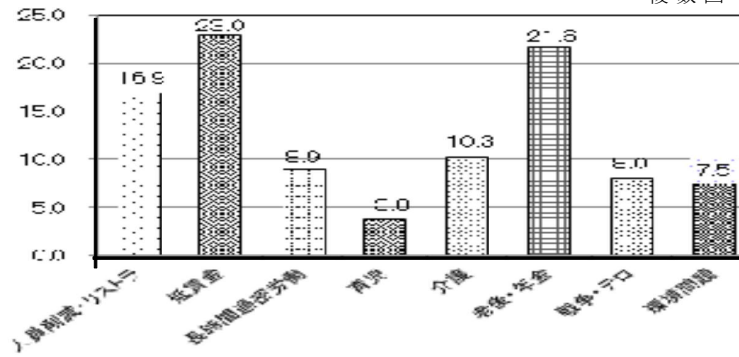
〒142-0043 東京都品川区二葉2-20-8 染野ビル2F
Tel 03-6421-5323, Fax 03-6421-5324 Email: denkiunion@gmail.com

物価上昇に追いつかない、生活を補う大幅賃上げを！

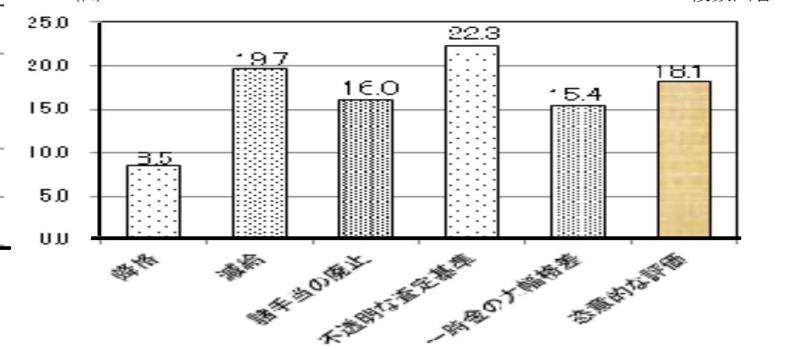
電機懇と電機・情報ユニオンが、協同して取り組んでいる25春闘要求アンケートは、1月17日（金）迄に寄せられた中間集計154枚（昨年190枚）を分析した結果から、特徴のある項目を抜粋して報告します。回答者の内訳、正社員73.8%・非正規10.1%・再雇用13.4%・管理職2.7%。技術開発57.0%・製造17.4%・スタッフ事務14.1%・営業4.7%・その他6.7%。29歳以下12.2%・30歳代15.5%・40歳代18.2%・50歳代33.1%・60歳以上20.9%でした。全国の19企業の職場労働者からご協力を頂き、ありがとうございます。

アンケートへのご協力ありがとうございました

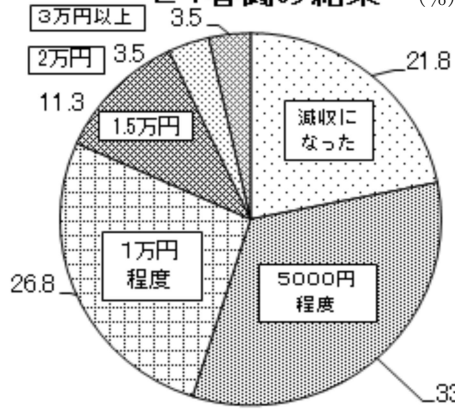
困っている・不安なこと 複数回



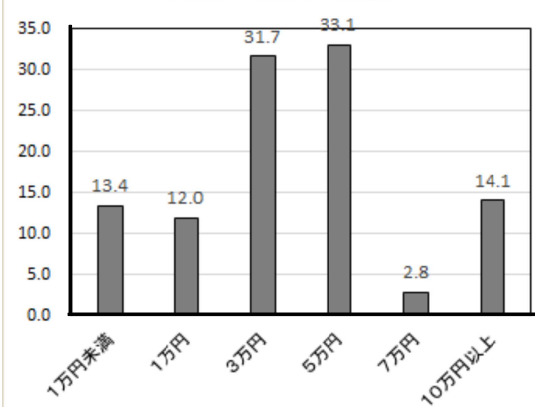
処遇制度の困る・不安なこと 複数回答



24春闘の結果 (%)



現在の必要な金額 (%)

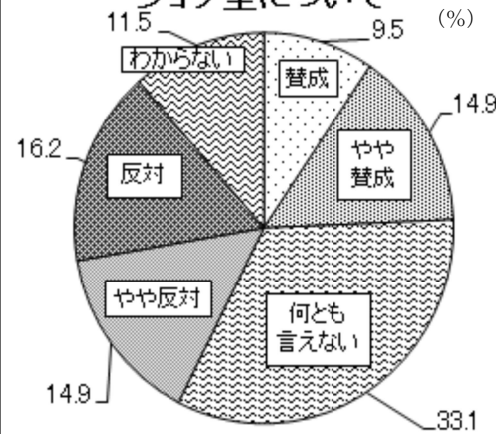


現在困っている・不安なことでは、「老後・年金」がトップから「低賃金」が多数になりました。引き続き「人員削減・リストラ」が、3番目になっているのが特長です。

困ると不安な順位として「不透明な査定基準」22.3%、「減給」19.7%、「恣意的な査定」18.1%、「諸手当の廃止」16.0%、「大幅格差」15.4%となっています。

生活実態は、苦しいとの回答が59.3%（昨年は62.6%）と低下し、家計の収支でも赤字が17.6%と少ないのが実態です。生活維持に必要な金額は、3万円以上が81.8%でした。加重平均は、4万1711円となっています。

ジョブ型について (%)

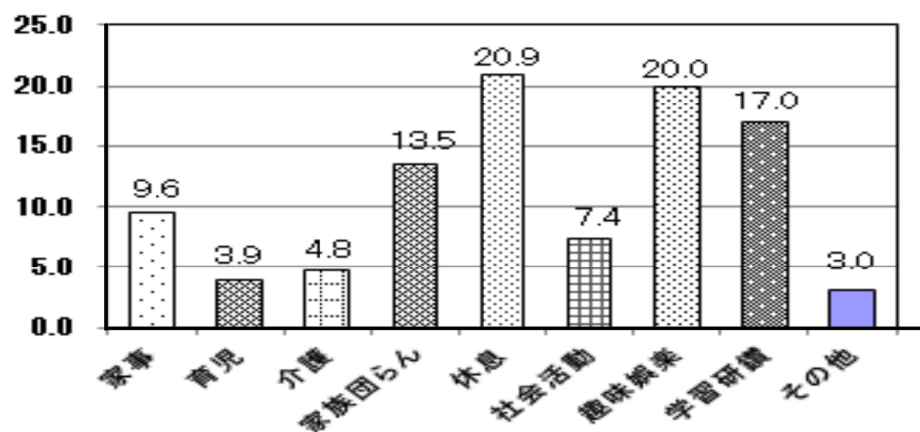


電機各社で導入が進められている「ジョブ型」雇用の導入については、「賛成」「やや賛成」が24.4%（昨年18.9%）、「反対」「やや反対」が31.1%（昨年31.3%）と、変化はありました。しかし一方で、「何とも言えない」「わからない」が44.6%（昨年49.8%）と多数を占めており、労働者の間でも、今のところ制度をどう捉えて良いのか分からず、迷いが生じているものと思われます。

アンケートに寄せられた声！

- ◆日立から外れて数年たちますが、処遇や福利厚生は日立グループの時に比べ、各段に悪くなっています。（日立；男性）
- ◆非正規に責任を押し付ける、部署パワハラを上司が注意しない会社を辞めざるをえない体質会社のイメージはブラック企業と言われる。（NEC；女性）
- ◆パイオニアの再雇用の賃金は低すぎ、以前と同じ仕事をしてもらっても年収は3分の1になった。今どきこんな制度を無くしてもらいたい。（パイオニア；男性）
- ◆派遣社員の昇給や賃上げがありません。派遣社員を守ってくれる組織はありません。正社員との差別しか感じられませんが孤独です。物価高騰の中、派遣社員でも正社員と同様に昇給、賃上げを希望致します。（富士電機；女性）
- ◆転勤・単身赴任時の負担が大きい。出向先手当と差がマイナスになっても補填はされない。（NEC；男性）
- ◆働き手減少している中、既存社員は頑張っているのに、賃金改善もってできるはずなので、次の春闘もお願いします。（日立；男性）
- ◆上司の主観によるところが大きくなり、納得性は低下した。上司からの評価になるのでその人との相性次第でかなり変わってくる。表はジョブ型だが、裏はリストラと思う。悪質なジョブ型雇用をやめてほしい。（ルネサス；男性）
- ◆23年度より部下持ちの管理職となり、24年度は大幅な組織変更の影響もありチームメンバーが倍近くに増えた。部下が増えたことにより、通常業務以外の管理業務（面談など）が忙しくなった。（沖電気；男性）

生活時間で不足している時間 複数回答



生活時間で不足している項目は、残業時間の調査との関連が有りそうです。トップに「休息」20.9%、「趣味娯楽」20.0%、「学習研鑽」17.0%、「家族団らん」13.5%、「家事」9.6%と続く結果になっています。